

令和3年度

教育総務部の方針書

部 名	教育総務部
部長名	木村 雅美

1. 部の使命(ありたい姿)

ふるさと横手に愛着と誇りを持ち、自らを高め、人との関わりの中で共生協働し、未来を切り拓く人を育みます。

担当政策	政策2: 学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
担当施策	2-1: 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 2-2: 安全で安心して学べる教育環境の整備 2-3: 元気なまちを築く生涯スポーツの促進 2-4: 心を豊かにする生涯学習の推進 2-5: よこての伝統文化の継承と再発見

2. 部の抱える課題(現状)

- ・横手駅東口第二地区第一種市街地再開発事業における新公益施設の運営方針及び市立図書館全6館体制のあり方
- ・学校施設の長寿命化対策と環境整備
- ・横手体育館及び横手市民会館の建替え事業の推進
- ・コミュニティ・スクールの試行及び本格導入に向けた取り組み
- ・体育施設の整備方針の検討
- ・地域の歴史的資源を把握し、保存と活用を推進する取り組み

3. 今年度の『スローガン』

「郷土を愛し、共に語り、共に未来を切り拓く人を育てるまち、横手」
～ 創造と対話による事業の推進 ～

4. 今年度の方針

- ◎安全で安心して学べる教育環境の整備
- ◎生涯学習・生涯スポーツ施設の整備、運営による賑わい創出
- ◎市民協働による学びの場の充実
- ◎地域の歴史的資源を把握し、保存と活用を図るための事業の推進

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	教育環境の整備、運営による安全で安心な学びの場の提供と賑わい創出
	取組内容	・学校施設の長寿命化改善計画に基づく事業の実施と環境整備 ・横手駅東口第二地区第一種市街地再開発事業における新公益施設の運営方針及び市立図書館全6館体制のあり方の検討 ・横手体育館及び横手市民会館の建替え事業の推進 ・スキー場整備計画の策定
(2)	実現したい成果	市民協働、市民参加による学びの場の充実
	取組内容	・教育ビジョン及びスポーツ推進計画の推進 ・生涯学習推進計画の策定 ・コミュニティ・スクールの試行及び本格実施に向けての準備 ・コロナ禍での事業実施に向け、開催方法を含めた安全対策の検討
(3)	実現したい成果	地域の歴史的資源を把握し、保存と活用を図るための事業の推進
	取組内容	・横手市歴史文化遺産保存活用地域計画の推進 ・埋蔵文化財発掘調査事業の推進と歴史的価値の周知 ・郷土資料館施設等の運用のあり方の検討

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1) 教育環境の整備、運営による安全で安心な学びの場の提供と賑わい創出
 - ・学校施設の長寿命化改善計画に基づき、浅舞小学校大規模改修工事(2ヵ年)を着工した。また、普通教室へのエアコン設置やトイレの洋式化に取り組み教育環境の整備に努めた。
 - ・横手駅東口第二地区第一種市街地再開発事業における新公益施設については、アンケートや小中学生によるワークショップを開催し、運営方針に市民の意見を取り入れるための取り組みを行った。また、備品の選定や配置を検討した。
 - ・天下森スキー場等整備全体計画作成業務を委託した。
- (2) 市民協働、市民参加による学びの場の充実
 - ・生涯学習推進計画策定のため、策定委員の選考を行った。
 - ・コミュニティ・スクールのモデル校である増田、十文字小中学校4校において、第1回学校運営協議会を開催した。
 - ・新型コロナウイルス感染予防対策を行い各種事業の実施に向け取り組んだ。
- (3) 地域の歴史的資源を把握し、保存と活用を図るための事業の推進
 - ・横手市歴史文化遺産保存活用地域計画に基づき事業を実施しており、市指定文化財の現状把握にも努めた。
 - ・県営ほ場整備事業に伴い大清水ⅠⅡⅢ遺跡の発掘調査を実施した。
 - ・造山遺跡群と沼柵西部地区の歴史的価値をテーマに後三年合戦沼柵公開講座を開催した。
 - ・横手市郷土資料館施設運営協議会を開催し、資料館施設等の方針について協議した。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1) 教育環境の整備、運営による安全で安心な学びの場の提供と賑わい創出
 - ・浅舞小学校大規模改修工事を計画的に進めるとともに、朝倉小学校の改修工事に向けた準備をしていく。また、トイレの洋式化率向上に努める。
 - ・横手駅東口第二地区第一種市街地再開発事業における新公益施設の運営方針策定に向け取り組む。
 - ・横手体育館及び横手市民会館の建替え事業については、基本計画策定委員会へ参加し、関係部局と連携して取り組んでいく。
 - ・横手市のスキー場整備方針を決定する。
- (2) 市民協働、市民参加による学びの場の充実
 - ・生涯学習推進計画策定委員会を設置し、計画書作成に取り組む。年度内に策定し公表する。
 - ・コミュニティ・スクール研修会を開催し、来年度からの全小中学校への本格導入に向け準備を進める。
 - ・新型コロナウイルス感染予防対策を継続し、各種事業が円滑に実施できるよう努める。
- (3) 地域の歴史的資源を把握し、保存と活用を図るための事業の推進
 - ・横手市歴史文化遺産保存活用地域計画に沿って事業が着実に実施できるよう検討していく。
 - ・金沢柵の館特定のための試掘調査と、これまで検出された柵の延長を調査する。また、後三年合戦金沢柵公開講座を開催し周知に努める。
 - ・保管されている歴史文化遺産の取り扱いや保管、活用について検討していく。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1) 教育環境の整備、運営による安全で安心な学びの場の提供と賑わい創出
 - ・浅舞小学校大規模改修工事は令和3年度体育館棟が終了した。令和4年秋まで校舎棟等の完成を目指す。また、朝倉小学校の調査等が終了し、令和4年度は設計業務等に着手する。
 - ・横手駅東口第二地区第一種市街地再開発事業における新公益施設については、備品の選定等、開館に向けた準備に取り組んだ。令和4年度も引き続き運営方針策定に向け取り組んでいく。
 - ・横手体育館及び横手市民会館の建替え事業については、関係部局と連携し引き続き事業推進に努める。
 - ・天下森スキー場等整備全体計画を策定した。令和4年度はヒュッテの設計等を実施する。
- (2) 市民協働、市民参加による学びの場の充実
 - ・第4次横手市生涯学習推進計画を策定した。今後、計画に沿って事業を推進していく。
 - ・コミュニティ・スクールモデル校を4校(増田、十文字小中学校)指定し、本格導入に向け準備を進めた。令和4年度より全ての小中学校に導入する。
 - ・新型コロナウイルス感染予防対策を行い、各種事業が円滑に実施できるよう努めた。しかし、感染拡大により公共施設の休館期間が発生した。今後も各種事業が円滑に実施できるよう感染予防対策を徹底する。
- (3) 地域の歴史的資源を把握し、保存と活用を図るための事業の推進
 - ・横手市指定文化財の現状把握に努めた。令和4年度も横手市歴史文化遺産保存活用地域計画に基づき事業を推進する。
 - ・埋蔵文化財発掘調査事業により、下福田尻・東遺跡が奈良時代の集落跡であることが判明した。また、金沢柵推定地より柵跡の一部を検出した。令和4年度は県営ほ場整備事業や大型公共施設建設に伴う緊急発掘調査等により発掘調査面積が例年より大幅に増える予定となっている。
 - ・郷土資料館施設等については、資料整理に取り取り組んだ。今年度は十字館資料展示室の展示資料を整理した。令和4年度はつきの木館収蔵の歴史資料の整理を行う。